

# 第7回執行委員会④

5月26日（金）11時半～ かめや

## 国労

# 蘇我運輸区分会ニュース



**海浜幕張駅**  
**ホームトイレ**  
同駅に現在1箇所しかない改札口を蘇我方にも増設する計画が進められようとしています。この話を聞いた時、イベント時の混雑が少しは緩和されるのかなと思いましたが、この駅の混雑の問題

## 色々な設備変更に関して

という話の方が私たち車掌にとっては深刻です。東京方面からの持ち帰り折り返し乗務では東京方のトイレの方が使い勝手が良いと思いますが、蘇我より便乗で来た場合、トイレも含めて気軽に休む場所がないのは困りものです。

点はホーム上であり、階段とエスカレーターを増設しない限り期待は出ない・のかも。今回の計画では改札口増設工事に伴い、その真上に位置する乗務員用のトイレが配管等の関係で撤去され、代わりに東京方に新設されると

## 若者たちと語ろうよ②

先月下旬、都内で私鉄労組の春闘総括報告を聞く交流会に参加してきました。鉄道以外の参加労組も10以上集まり、こうした集まりも個人的に久しぶりでした。

私鉄労組はT鉄道、S鉄道、Kバスの3労組で全て30代、40代の青年たちが組織を担う代表者として、実に堂々とした報告を行なったことに驚きました。その内容も要求額を決めるまでの組織内での分析、調査、議論と、全員参加の度重なる集会、そして満額回答までの5回以上もくり返される団体交渉の様子が事細かに報告され、本当に久しぶりに春闘というものが健在であることに嬉しく思いました。

JR内では12もの労組がありますが、それに比べると会社規模は小さいながらも、1企業1組合の文字通り「一枚岩」の強さを感じました。

が、T労組より闘う労働組合つぶしを目的とした所謂御用組合が会社内で作られたという報告があり、かつての自分たちの苦い過去の思い出、そして現在は「組合を認めない」JR会社内での社友会の存在を思いました。社友会は勿論組合ではありませんが「組合のやり方」に学んでいることは確かです。安心して働き続け、生き続けられるための労働組合運動の大切さを、残りわずかな時間となりましたが、職場に残す取り組みを続けたいと思います。

会議内では「蘇我方の」トイレは使えなくても良いから、休むための建物だけは残してほしい」という声もありました。  
**京葉運輸区開業で**  
今年8月には、現丸の内車掌区と東京電車区の統合職場となる京葉運輸区が、東京電車区の場所に開業となります。それに伴い、現在私たちが

が使っているB3休憩室も廃止となり、この京葉運輸区まで行き、休憩、食事を摂るといことです。その関係で、徒歩時間の見直しもあるかもしれないという話がありました。労働時間の絡みですが、確かに余計に時間が掛かりそうです。

### 舞浜駅下りホーム

今年に入ってからかなり利用者が増えた舞浜駅。そのホームは昨年2月

に延伸され現在に至っていますが、下りホームに関しては、東京方末端がほんの少しですが歪曲しており、車掌の目視が数メートルの範囲でしかなく、毎日のようにちょっとした事故が続いています。停止位置をもう少し前方に移動出来たら・・・という要求を続けたいと思います。



☆ 他には乗り換え案内カードへの列車番号表記、所定行路内に付けられたその他時間について・・・等々。